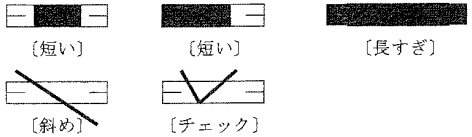
指示があるまで開いてはいけません。

解答用紙（マークシート）記入上の注意事項

1　この用紙を折ったり、丸めたり、汚したりしないこと。
2　鉛筆（HB）で濃く、はっきりとマークすること。
3　正しい記入例



※誤った記入例（この場合は、誤答とみなされます。）



4　マークミスに気付いたときは、プラスチック製の消しゴムで「消しあと」が残らないよう、きれいに消してからマークし直すこと。「消しあと」が残っている場合は、誤答となります。
5　解答用紙の「氏名」、「受検地」、「受検番号」及び「受検区分・教科（科目）」は、次のとおり記入（マーク）すること。
(1)　「受検番号」マーク欄は、例えば、受検番号が「１２３４５６」の場合、

受検番号					
1	2	3	4	5	6
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

と記入及びマークすること。
(2)　「受検区分・教科（科目）」マーク欄も、上記の例によりコード番号をマークすること。
(3)　文字で記入する「氏名」、「受検地」、「(受検区分)」、「(教科)」及び「(科目)」並びに算用数字で記入する「受検番号」及び「受検区分・教科（科目）」も、忘れずに記入すること。

令和7年度(2025年度)　北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査

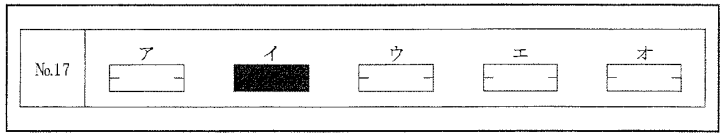
第１次検査 専門検査（Ⅰ） 問題用紙

受検区分	教　科
養　護　教　諭	

（注　意）
1　検査の時間は60分です。
2　検査問題用紙が出願した受検区分、受検教科に合致していることを必ず確認し、異なっている場合は挙手すること。
3　解答用紙が専門検査（Ⅰ）の用紙であることを必ず確認し、異なっている場合は挙手すること。
4　質問がある場合は、挙手すること。
　ただし、問題の内容や答えの書き方についての質問には応じられません。
5　解答は、解答用紙の注意事項をよく読み、各設問の末尾に指定された解答番号のマーク欄に鉛筆（HB）で濃く、はっきりとマークすること。
（例）

第11問　北海道について、問１、問２に答えなさい。
問１　北海道庁の所在地を選びなさい。　No.17
ア　函館市　　イ　札幌市　　ウ　岩見沢市　　エ　旭川市　　オ　釧路市

この場合は、正答は【イ　札幌市】ですから、解答用紙の解答番号No.17のマーク欄のイのところにマークします。



6　正答は一問につき一つです。解答肢の「ア～エ」又は「ア～オ」から一つ選び、解答用紙のマーク欄ア～オのいずれか一つのみマークすること。
7　受検番号、氏名等を必ず記入すること。
8　解答する問題はNo.１～No.20までです。解答用紙のマーク欄はNo.１～No.20までを使用すること。

第１問　「学校保健安全法」、「学校保健安全法施行令」及び「学校保健安全法施行規則」に照らして、学校等の対応について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 1

ａ　Ａ小学校では、定期健康診断の耳鼻咽頭疾患及び皮膚疾患の有無の検査を、第４学年及び第６学年を除いて実施した。

ｂ　Ｂ中学校は、生徒Ｃが１月22日に発熱し、翌日病院でインフルエンザと診断された後、１月24日に解熱したため、１月27日から登校可能であることを連絡した。（学校医やその他の医師による出席停止期間に対する指示はなかったものとする。曜日は考えないこととする。）

ｃ　Ｄ教育委員会は、感染症の予防のための出席停止及び臨時休業を行った際、保健所に連絡をした。

	ａ	ｂ	ｃ
ア	正	正	誤
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	正
オ	誤	誤	正

第２問　北海道の児童生徒等の健康課題について説明したａ～ｃの文の正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 2

ａ　「令和４年度学校保健統計調査（確定値）北海道の概要（北海道総合政策部計画局統計課）」によると、北海道の肥満傾向児の出現率は、小・中学校の全ての年齢で全国値を上回っており、高等学校は全ての年齢で全国値と同等か下回っている。

ｂ　「令和４年度学校保健統計調査（確定値）北海道の概要（北海道総合政策部計画局統計課）」によると、北海道の「むし歯（う歯）」のある者の割合は、全ての年齢で全国値を上回っているが、12歳の「永久歯の１人当たり平均むし歯（う歯）等数」については0.8本となり、初めて1.0本を下回った。

ｃ　「令和４年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（北海道）」によると、北海道の公立小・中学校の不登校児童生徒数は過去最多となり、不登校の要因としては、公立小・中学校ともに「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が最も多かった。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	誤

第３問　保健管理について、問１～問８に答えなさい。

問１　次の事例を読んで、下線部①～④のうち、児童Ｅに対する学校の対応として、適当でないものの組合せを選びなさい。　No. 3

児童Ｅは、てんかんを有しており「てんかん重積状態」の発作を止める効果が期待できる口腔用液（ブコラム®）を処方されています。４月に保護者から、やむを得ない場合には、教職員が児童Ｅに、ブコラム®を投与することについて依頼があり、医師から事前に書面による指示を受け、対応の確認を行っていました。

児童Ｅは、ある日、教室で授業中に突然その場で止まり、「ぼーっ」として口をもぐもぐさせる状態になりました。

保健室に連絡が入り、教室にかけつけた養護教諭は、①けいれんが起こらないよう仰向けにして体を押さえ、②舌を噛まないように清潔なタオルを口の中に入れて、観察と記録を続けました。

③「ぼーっ」として口をもぐもぐさせる状態が５分間継続したところで、「てんかん重積状態」であると判断し、ブコラム®の投与を依頼されている児童Ｅ本人であることを確認の上、医師の指示書に基づきブコラム®を投与し、救急車を要請しました。

④投与後、すぐに発作が治まりましたが、そのまま救急搬送しました。

ア　①②　　イ　①③　　ウ　②③　　エ　②④　　オ　③④

問２　児童生徒等の健康診断について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次は、平成27年９月に文部科学省が示した「児童、生徒、学生、幼児及び職員の健康診断の方法及び技術的基準の補足的事項について」の一部である。空欄①～④に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No.4

> ２　身長の測定
> （１）被検査者の頭部を正位に保たせるには、被検査者の頭を正面に向かせて眼耳線が水平になるようにすること。すなわち、耳珠上縁と［①］とを結ぶ線が水平になるよう位置させること。この場合、後頭部は身長計に接触しなくても差し支えないこと。
>
> ６　視力の検査
> （２）視力表は、字ひとつ視力表又は字づまり視力表を用い、測定には原則としてランドルト環を視標とするものを使用し、汚損したもの、変色したもの、しわのあるものなどは使用しないこと。また、視標の掲示は、字ひとつ視力表にあっては被検査者の目の高さとし、字づまり視力表にあっては視標［②］を被検査者の目の高さにすること。
>
> ７　聴力の検査
> （２）聴力の検査は、下記及び（３）の要領で行うこと。
> ア　検査場は、正常聴力者が［③］の音を明瞭に聞きうる場所であること。
>
> ８　歯及び口腔（くう）の検査
> （２）歯の検査は下記に留意して実施すること。
> ア　歯の疾病及び異常の有無の検査は、処置及び［④］を要する者の選定に重点を置くこと。

	①	②	③	④
ア	眼窩（か）上縁	1.0	4,000Hz、25dB	指導
イ	眼窩上縁	0.3	1,000Hz、25dB	経過観察
ウ	眼窩下縁	1.0	4,000Hz、25dB	経過観察
エ	眼窩下縁	1.0	1,000Hz、25dB	指導
オ	眼窩下縁	0.3	1,000Hz、30dB	指導

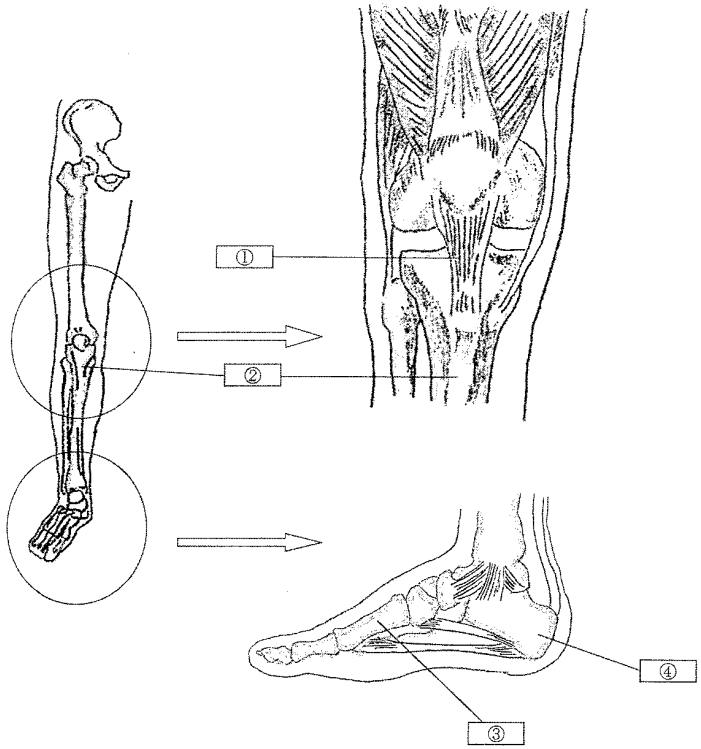
(2) 「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」（公益財団法人　日本学校保健会）に示されている内容について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No.5

> ａ　成長曲線等を描くことで、一人一人の児童生徒等特有の成長特性を評価でき、「肥満」や「やせ」といった栄養状態の変化、それに加えて低身長、高身長、特に性早熟症といった病気等を早期に見つけることができる。
> ｂ　身長が低すぎる、あるいは高すぎると感じた児童生徒等については、一時点の身長の測定値のみで判断するのではなく、それまでの身長の測定値を基に身長成長曲線を描いて検討し評価した上で、適切な事後指導について検討する。
> ｃ　肥満度の計算について、小学６年生（11歳）男子、身長146.5cm、体重47.3kg、身長別標準体重39.5kgの場合、肥満度は19.7％となり、肥満度に基づく判定は軽度肥満である。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	正	正
オ	誤	誤	誤

問３　次の図は、下肢の骨格等について模式的に示したものである。空欄①～④に当てはまる名称の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 6

図



	①	②	③	④
ア	膝蓋靱帯	脛骨	中足骨	踵骨
イ	膝蓋靱帯	腓骨	基節骨	距骨
ウ	膝蓋靱帯	腓骨	中足骨	踵骨
エ	前十字靱帯	腓骨	基節骨	踵骨
オ	前十字靱帯	脛骨	中足骨	距骨

問４　下肢の外傷及び障害について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 7

ａ　足関節の骨折を疑った場合に行う応急処置は、安静、冷却、挙上が原則である。血行障害を防止するため、患部を圧迫してはいけない。
ｂ　オスグッド病は、概ね10～14歳で発症し、膝蓋骨の下方に疼痛と腫脹が生じる疾患である。この部分は成長期ではまだ軟骨の部分が多くて弱く、膝を伸ばす動作を繰り返すことにより発症する。
ｃ　足関節の捻挫の多くは、足が内側に回転し、足の裏が他方の足の側に向いたときに起こることから、足関節の内側の靭帯が痛む。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

問５　熱中症に関して説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 8

ａ　熱中症のリスクは、気温だけで評価することが難しいため、気温と湿度から算出する暑さ指数（ＷＢＧＴ）を用いて、運動時等の熱中症予防を行う。
ｂ　「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」（令和３年５月　環境省・文部科学省）によると、暑さ指数（ＷＢＧＴ）が31℃以上では、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避けることが示されている。
ｃ　めまい、頭痛、吐き気があり、意識はあるが、自力で水分を摂取できない場合には、速やかに医療機関を受診する必要がある。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

問６　ノロウイルス感染症に関して説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No.9

ａ　ノロウイルスの活性を失わせるためには、石けんによる手洗いでは効果がないため、アルコールによる手指消毒が最も有効である。
ｂ　ノロウイルス感染症の感染者のおう吐物の処理や、流行期のドアノブなどの環境の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用可）などの使用が有効である。
ｃ　ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあるため、おう吐物は乾燥しないうちに床などに残らないよう速やかに処理し、処理した後はウイルスが屋外に出て行くよう、空気の流れに注意しながら十分に換気を行うことが重要である。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	誤	誤
ウ	誤	正	正
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

問７　産婦人科医への相談を要する基準について、適当でないものを選びなさい。　No.10

ア　初経は10～14歳の間に発来するのが正常であるため、15歳になっても月経が一度もない場合は、専門医への受診を勧める。
イ　帯下（おりもの）の増量が、卵胞ホルモンが増加する排卵期（月経と月経の中間の時期）にみられる場合は、専門医への受診を勧める。
ウ　初経から数年間は排卵がまだ確立していないため、思春期女子の月経周期は規則的であることの方が少ないが、そうであっても３か月以上月経がこない場合は、専門医への受診を勧める。
エ　月経開始の３～10日前から、イライラや憂うつ、下腹痛や頭痛、むくみ、食欲の亢進や傾眠等の精神的・身体的症状が出現し、月経開始とともに減退している場合は、専門医への受診を勧める。

問８　学校環境衛生活動について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 学校環境衛生検査について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No.11

ａ　学校保健安全法施行規則第二条に、「学校においては、前条の環境衛生検査のほか、日常的な点検を行い、環境衛生の維持又は改善を図らなければならない」と規定されていることから、日常点検も法令に基づき行うものである。
ｂ　学校保健安全法第五条では、学校保健計画の策定等が規定され、また、学校保健安全法施行規則第二十四条では、学校薬剤師の職務執行の準則が規定されていることから、全ての検査項目をどの時期に実施するかについては、学校薬剤師と相談して決める。
ｃ　学校保健安全法第六条に、学校環境衛生基準は、学校の設置者が定めるものと規定されている。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	誤	正
オ	誤	誤	誤

(2) 「学校環境衛生基準（令和４年文部科学省告示第60号）」について説明したａ～ｃの文の正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No.12

ａ　換気の基準として、二酸化炭素が1500ppm以下であることが望ましく、二酸化炭素は検知管法により測定する。
ｂ　温度の基準は、17℃以上、28℃以下であることが望ましく、アスマン通風乾湿計を用いて測定する。
ｃ　一酸化炭素の基準は、10ppm以下であり、検知管法により測定する。

	a	b	c
ア	正	正	誤
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	正
オ	誤	正	誤

第４問　保健教育について、問１、問２に答えなさい。

問１　次の文は、中学校学習指導要領解説（平成29年７月）「保健体育編」における「健康な生活と疾病の予防」の「ア　知識」の「(オ) 感染症の予防」の一部である。空欄①～③に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No.13

> ㋐　感染症の予防
>
> 感染症は，病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり，適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることを，例えば，［①］，コレラ，ノロウイルスによる感染性胃腸炎，麻疹，風疹などを適宜取り上げ理解できるようにする。
>
> 病原体には，細菌やウイルスなどの微生物があるが，温度，湿度などの自然環境，住居，人口密度，交通などの社会環境，また，主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で，病原体が身体に侵入し，感染症が発病することを理解できるようにする。その際，病原体の種類によって［②］が異なることにも触れるものとする。
>
> 感染症を予防するには，消毒や殺菌等により発生源をなくすこと，周囲の環境を衛生的に保つことにより感染経路を遮断すること，栄養状態を良好にしたり，予防接種の実施により免疫を付けたりするなど身体の抵抗力を高めることが有効であることを理解できるようにする。また，感染症にかかった場合は，疾病から回復することはもちろん，［③］ためにも，できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることを理解できるようにする。

	①	②	③
ア	インフルエンザ	潜伏期間	周囲に感染を広げない
イ	インフルエンザ	感染経路	重症化を防ぐ
ウ	結核	潜伏期間	重症化を防ぐ
エ	結核	潜伏期間	周囲に感染を広げない
オ	結核	感染経路	周囲に感染を広げない

問２　次の文は、高等学校学習指導要領解説（平成30年７月）「保健体育編　体育編」における「安全な社会生活」の「ア　知識及び技能」の「(イ) 応急手当」の一部である。空欄①～④に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No.14

> ㋐　応急手当の意義
>
> 適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。また，自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な［①］も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，［②］が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることを理解できるようにする。
>
> ㋑　日常的な応急手当
>
> 日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた［③］・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。
>
> ㋒　心肺蘇生法
>
> 心肺停止状態においては，急速に回復の可能性が失われつつあり，速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，実習を通して理解し，ＡＥＤなどを用いて心肺蘇生法ができるようにする。
>
> その際，複数人数で対処することがより有効であること，［④］を優先することについて触れるようにする。

	①	②	③	④
ア	一次救命処置	周囲の人々の安全の確保	体位の確保	胸骨圧迫
イ	一次救命処置	自ら進んで行う態度	体位の確保	人工呼吸
ウ	一次救命処置	自ら進んで行う態度	保温や冷却	胸骨圧迫
エ	連絡・通報や運搬	自ら進んで行う態度	体位の確保	胸骨圧迫
オ	連絡・通報や運搬	周囲の人々の安全の確保	保温や冷却	人工呼吸

第５問　子どもの心のケアに関する内容について、問１、問２に答えなさい。

問１　子どもの心のケアに関して説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No.15

ａ　小学校低学年のうちは、自分自身の精神状態を十分には自覚できず、言葉で上手く表現できないことが多いため、ストレス反応として、心理面での訴えよりも、頭痛・腹痛・おう吐など体の症状や、行動面の変化、睡眠の障害などとなって現れやすい。

ｂ　事件や事故、大きな災害に遭遇した子どもに対するケアは、基本的には平常時と同様だが、事故等発生時におけるストレス症状の特徴を踏まえた上で健康観察を行い、子どもが示す心身のサインを見過ごさないようにすることが重要である。

ｃ　ストレス症状を示す子どもには、ストレスを受けたときに症状が現れることは普通であることや、症状は必ず和らいでいくことを伝え、一人で悩んだり孤独感をもったりせずに済むようにする。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	正
オ	誤	誤	正

問２　事故等発生時におけるストレス症状に関して説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No.16

ａ　事件や事故、大きな災害に遭遇し、激しいストレスにさらされた場合に、急性ストレス障害（ＡＳＤ）を発症することがある。その主な症状として、再体験症状、陰性気分、解離症状、回避症状などが挙げられる。

ｂ　事故等発生後から、ＡＳＤで見られる強いストレス症状が３か月以上持続した状態を心的外傷後ストレス障害（ＰＴＳＤ）と呼ぶ。ＰＴＳＤは、時間経過とともに自然治癒することが多い。

ｃ　ＰＴＳＤの子どもにてんかんの既往がある場合、睡眠覚醒リズムの乱れで発作を起こしやすくなるため、注意が必要である。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	誤

第６問　次の文は、「生徒指導提要」（令和４年12月　文部科学省）の一部を抜粋したものである。問１、問２に答えなさい。

> 第13章　多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導
> 13.3　健康課題に関する理解と対応
> 13.3.2　健康課題への対応
> （略）
> 学校における［①］は、学級・ホームルーム担任や養護教諭が中心となり、教育活動全体を通じて全教職員により行います。また、［②］は、養護教諭、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、学級・ホームルーム担任等の関係者が連携しながら、それぞれの専門性に応じて行います。
> （略）
>
> 13.3.3　生徒指導における健康課題への対応と関わり
> （略）
> また、中央教育審議会「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」（平成27年）では、養護教諭は職務の特質から、児童生徒の身体的不調から背景にあるものにいち早く気付くことのできる立場にあることや、［②］においても重要な役割を果たしていることなどから、生徒指導面でも重要な役割を担っていると指摘されています。つまり、［A］など幅広い役割の担い手であるということです。したがって、養護教諭は校内の生徒指導、教育相談において重要な位置を占め、チーム支援には欠かすことのできない存在と言えます。
> （略）

問１　空欄①、②に当てはまる語句として、正しいものをそれぞれ選びなさい。
①［No.17］　②［No.18］

ア　教育相談
イ　健康相談
ウ　保健指導
エ　健康観察

問２　空欄Ａには、養護教諭の四つの役割が当てはまるが、その内容として適当でないものを選びなさい。［No.19］

ア　児童生徒の心身の状況についての問題の発見者・情報収集者（アセスメント）
イ　予防的・治療的相談者（カウンセリング）
ウ　学級・ホームルーム担任や保護者への助言者（コンサルテーション）
エ　専門機関の紹介や援助資源の連絡調整役（コーディネーション）
オ　目標や方針を決定し、それを遂行するための全般的な組織管理者（マネジメント）

第７問　「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成25年10月11日文部科学大臣決定（最終改定　平成29年３月14日））におけるいじめに関連する内容について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。［No.20］

> ａ　いじめとは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と「一定の人的関係」にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものを言い、「一定の人的関係」には、学校外の人的関係も含まれる。
> ｂ　インターネット上で悪口を書かれた児童生徒が、そのことを知らず心身の苦痛を感じていない場合、悪口を書き込んだ児童生徒に対する指導等は必要ない。
> ｃ　好意から行った行為が、意図せずに相手を傷つけ、心身の苦痛を感じさせてしまった場合、すぐに加害者が謝罪したことにより、教員の指導がなくても良好な関係を再び築くことができたとしても、いじめに該当するため、学校いじめ対策組織へ情報共有する必要がある。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

正答及び配点

令和7年度(2025年度) 北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査専門検査

受検区分	受検教科
養護教諭	

問題番号		正答	配点(点)	問題番号		正答	配点(点)
第1問	No.1	オ	5	第4問	No.13	オ	5
第2問	No.2	エ	5		No.14	エ	5
第3問	No.3	ア	5	第5問	No.15	ア	5
	No.4	エ	5		No.16	ウ	5
	No.5	イ	5	第6問	No.17	エ	5
	No.6	ア	5		No.18	イ	5
	No.7	エ	5		No.19	オ	5
	No.8	オ	5	第7問	No.20	イ	5
	No.9	ウ	5				
	No.10	イ	5				
	No.11	イ	5				
	No.12	ウ	5				